



東桜島中だより

～ひと・まち・環境～
～自然の恵み～
～やみくも～

鹿児島県立東桜島中学校 平成20年3月21日発行 文責(吉元)

TEL 221-2331 FAX 221-2340 ホームページアドレス: www.keinet.com/hisakuc

桜島一周遠行、頑張ったぞ。

16日は無風・快晴。生徒22名と職員9名は、8時20分過ぎ、元気に学校を出発。

前半は、交通量の多い区間とアップダウンの激しい地形であったが、予定どおり12時ごろ、美角小(休校中)の入り口に到着した。途中の生徒同士との励まし合いには、感動とともに、微笑まじきささえ感に満ちた瞬間であった。

食事を済ませた後半は、照りつける太陽と時折、嵐が巻き上げる降風に悩まされながら、道を食いしばっての修行であった。生徒の中には、ほとんど走りっぱなしの者もいたようだ。あっぱれ、東中流。

途中でふれあう地域の人々とのちょっとした交流も、元気をいただく時となった。新神中生徒や先生方の応援・ピクニックの嵐かさ・白浜のおじちゃんとの会話・トイレをお借りした休憩所等々、本当にお世話になった遠行だった。また、西海岸でのイルカとの遭遇は、生徒にとっては、さらなる元気と勇気を得たようである。

36キロを超える遠行は、8時間というハードさではあったが、生徒たちの心に一生残る思い出となったことは言うまでもない。



新しい道での修行は、たいへん気を遣いました。



職員ドライブインでの記念写真・今や定番の満員バスで一杯！

4名での宿泊学習(1年)終了

13日から15日までの三日間、高嶺山にある「国立大崎青少年自然の家」での宿泊学習は、大気に恵まれ、すべての日程を順調にこなした。4名のそれぞれが目的の達成を果たしたようです。出発式での「感謝」の心が、解散式でも代表の野原君からしっかりと聞けたことがうれしかったです。多くのチャレンジ・発見・感動が積み重なった体験になったことでしょうか。

※ 今回は、朝食のあと、百鬼ハイキングに行きました。

「最後まで盛り切る」という目標を立ててスタートしました。行きは降るところが多く、たいへんでした。でも、弁当はうまくいったです。帰りはキャンプ場まで1時間かからずにぶっ通しで行きました。しゃべりながら歩いたので、あまりつかれませんでした。(2日目の「感謝」から)



第12回 新世代のためのリーダー会議
「美しい地球を守るために」
地球問題について考える
3月17日(土) 説明会にて

作文募集は、前年度の3月であったが、山元華子さんが、みごと、優秀賞の栄冠に輝いた。書面は、その作文である。

ストップ環境悪化

山元 華子(3年)

地球環境を守るために、私たちは家庭で、そして学校で、節電や節水、リサイクルなどたくさんの方角をしている。しかし、日本全体をみると、なかなか環境への配慮が足りないのではないかと感じる。

だからこそ、今すぐに市長さんや政治家の方々など、たくさんのお叱、国民から注目されている人によって、今の現状を変えてもらいたい。その案として私が提案するのは、第一次産業の活性化だ。一見、地球環境を救うことと第一次産業を奨励させることは接点がないように見える。しかし、私は第一次産業を活性化させることによって、地球環境を変えるだけでなく、抱れ始めている農家・漁村などを救ったり、国民の食生活をも変えられるのではないかと考える。

今、日本の食糧自給率は低く、多種多様そして大量の食物を輸入に頼っている。外国から日本に輸送するまでの過程にはたくさんの燃料が使われ、そしてたくさんの有害物質が排出されている。環境問題の一つである地球温暖化は、温室効果のある二酸化炭素などのガスが増加したことが原因である。また、酸性雨も化石燃料の燃焼によって発生した気体が原因となっている。第一次産業が活性化すれば、いずれか比べて大幅に食糧自給率が上がり、輸送量も減り、燃料の使用による排出物の減量にもなる。市や国の呼び掛けならば、今すぐ結果が出るわけではないけれど何十年後でもいいので、日本の二酸化炭素排出量が減ればと感じる。また、第一次産業は、他の産業と比べて年々減っている。後継者が少ない等、問題がある。しかし、活性化すれば、また人口も増え、農村や漁村に元気をもたらすと思う。

そして私たち中学生にもたくさんできることがある。授業で、元氣な中学生はやはり身体を使うボランティアがいいのではないだろうか。ゴミ拾いやゴミの分別などである。

去年の夏、私自身がボランティアに参加し、海岸のゴミ拾いをした。たくさんゴミに驚かされ、そして圧倒された。「なんで海に捨てるのだろう」という疑問や「大人しか捨てられない環境が一番多い」という不信感を覚えた。拾っ

ても拾っても減らないゴミは、捨てられたゴミの量の多さだけでなく、人々の地球環境に対する危機感のなさを感じた。

他にも家庭でお風呂の水や食器を洗う時の水ができるだけ少なくしたり、使わない部屋の電気はこまめに消したりと環境をよくするための項目はたくさんある。一人一人の努力が集まってこそ、地球環境は救われるのである。まずは、自分のできる簡単なことから始めたいと思う。

誰もが、地球環境を壊したいとは思っていないけれど、産業の発展により、生活が便利になると同時に、大量の廃棄物が出され、地球が汚れていった。過去から今まで、私たち人間は生きる地球をどれだけ傷つけてきたか分からない。今、地球は温暖化や異常気象で私たちにSOSを出している。そんな中でも、ゴミの不法投棄や生活排水による水質汚濁など、まるで、地球のSOSを見て見ぬふりをしているようである。今を生きている私たちが、環境のために努力するのは未来を生き抜く子どものためでもある。環境のための努力は一人だけの力ではあまりに無力だ。世界が一つになって取り組むべき問題である。だからこそ、初めに挙げたようなことを、まずは日本で取り組んでいくべきではないだろうか。

6月行事予定

- 2日(月) からいも教室・輪化活動
- 3日(火) プール清掃
- 4日(水) フィールドワーク
- 6日(金) 教員救命教室
- 9日(月) 交通安全教室
- 11日(水) 資料検診・健康教室・教育相談
市郡路上競技大会
- 12日(木) 教育相談
- 13日(金) 学級奉還大会
- 17日(火) 教育相談
- 18日(水) 資料検診
- 19日(木) 校内奉還大会
豊学校訪問(文成学習)
- 20日(金) 学校保健委員会
- 21日(土) 鹿児島県内教員アワードゴルフ大会
- 25日(火) ~ 27日(金) 期末テスト
- 27日(金) 球技大会